

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道421号 <small>いしぐれとうげ</small> 石榑峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：三重県いなべ市大安町石榑南 <small>だいあんちやういしぐれみなみ</small> 至：滋賀県東近江市黄和田町 <small>ひがしおうみ きわだちやう</small>			延長	4.5km
事業概要					
<p>一般国道421号は、三重県桑名市から滋賀県近江八幡市に至る延長約70kmの路線であり、三重県北勢地域と滋賀県東近江地域の連携を強化する道路として重要な役割を担っている。</p> <p>石榑峠道路は、一般国道421号の三重県と滋賀県境峠部の土砂崩落等による通行止めを回避するとともに、災害時の迂回解消を含む走行時間短縮等、冬期閉鎖区間、線形不良区間の解消等を目的に計画された道路である。</p>					
H15年度事業化	都市計画決定	—	H17年度用地着手	H17年度工事着手	
全体事業費	150億円	事業進捗率	約69%	供用済延長	—
地域の防災面の課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 滋賀・三重県境は急峻な山地部であり、通過する国道421号では年間約154日間通行規制が発生。 ・ 国道421号は毎年冬期は約4ヶ月間閉鎖されており、並行する国道306号、国道477号も冬期間は閉鎖。 ・ 平成20年9月に発生した土砂崩落により、国道421号は現在も全面通行止めが継続。 					
課題を踏まえた対策・事業内容					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂崩落による通行止めを回避するとともに、冬期閉鎖区間、線形不良区間を解消する対策としてトンネルを主体とした別線整備で計画。 ・ 当該区間は急峻な地形で線形不良であるため、現道拡幅等では課題を解消できない。 					
事業の効果等				費用 (残事業)/(事業全体)	
<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等（247億円） ○災害による被害の回避 <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の代替機能の確保 ○地域住民の不安感の解消 <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心感向上（201億円） 				<p>— / 157億円</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>事業費： — / 153億円</p> <p>維持管理費： — / 4.6億円</p> </div>	
関係する地方公共団体等の意見					
<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道421号整備促進期成同盟会（S57.7設立、東近江市、いなべ市、近江八幡市、桑名市他3町）より早期整備の要望を受けている。 <p>三重県知事の意見：</p> <p>本事業は、冬期閉鎖の解消や災害発生時の通行止めの軽減などの防災対策や中部圏と近畿圏の物流・観光面での交流・連携の促進を図るなど重要な事業です。</p> <p>今後も引き続き、本県と十分な調整をしていただき、今年度末の供用開始に向け取り組んでいただくとともに、残された現道部分との取り付け工事等の早期完了に向け事業の推進をお願いします。</p> <p>滋賀県知事の意見：</p> <p>照会のありました「国道421号石榑峠道路」事業については、平成22年度末で供用開始の予定であり、地元も望んでいる早期の事業効果発現を期待しております。</p> <p>残工事を含む全ての事業が完了するまで、安全に十分配慮の上で事業推進していただきますようお願いいたします。</p>					
事業評価監視委員会の意見					
<p>審議の結果、「国道421号石榑峠道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					

一般国道421号の滋賀県・三重県境では、依然として冬期閉鎖区間、線形不良区間であり、平成20年9月に発生した土砂崩落により通行止めとなっている。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成15年度に事業化し、平成17年度から工事に着手し、用地取得は100%完了。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

トンネル本体工事は完成しており、平成22年度末の開通に向けて工事を推進中。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、設計段階からトンネル換気設備を縮小等、コスト縮減に努めながら事業を推進。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

- ※1 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。
- ※2 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。

再評価結果(平成23年度事業継続箇所)

担 当 課 : 道路局 国道・防災課

担当課長名 : 三浦 真紀

事業名	一般国道421号 <small>いしくれとうげ</small> 石榑峠道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自 : 三重県いなべ市大安町石榑南 至 : 滋賀県東近江市黄和田町	延長	4.5km		

事業概要図

【位置図】



【概要図】

